

(4) 上記(「(1)～(3)」)以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入(1994年度)
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有(2001年度)
- ・「全学の一斉授業公開(オープンクラスウィーク)制度」導入(2003年度)
- ・FD・SD研修会の継続実施
- ・FD・SDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、後援会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学修相談
- ・オフィスアワーや学習の場の提供に関すること
- ・初年次教育へのCA(class assistant)制度の導入(2015年度)
- ・2016年度入学生よりGPAを導入
- ・2020年度入学生よりGPAにより履修制限数の緩和と厳格化を実施
- ・2020年度入学生より履修制限外科目の見直し(経済学部:公務員特別クラス等)
- ・「授業公開デイ(保護者参観)」を実施(保護者が実際に授業を参観し教員と意見交換可能)(2007年度)
- ・「授業公開デイ」を祝日授業日に実施(2021年度より)
- ・教職員による学修相談(2022年度前期より)
- ・学習成果の可視化を目的として、PROGテストを導入(2022年度より)
- ・アカデミック・カフェ(教職員企画FD)を導入(2025年度より)

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
2025年度 受入8名(中国2名・ベトナム4名・台湾1名・韓国1名)
- ・認定留学制度
2025年度 派遣2名(ニュージーランド)

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は3週間程度。研修実施国(地域)は、隔年でアメリカまたはニュージーランド。
- ・2025/8/18～9/5 アメリカ・ポートランド州立大学 参加者1名

<English Café>

- ・英語に興味はあるが自信がなく、どのように学習すれば良いかわからない状況の学生が、まず第一歩が踏み出せるように、「カフェ」のような場所を提供する。また、海外研修や短期留学に金銭的な問題で参加できない学生をフォローする意味でもこのEnglish Caféをキャンパス内ミニ留学の役割を果たす存在とする。
- 2025年度 月曜日・水曜日・金曜日 12:30-15:30
延べ1,177名参加(前期:729名、後期:448名)

<海外の提携校>

- ・台湾・・・国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国・・・東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国・・・南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、南京大学大学外語部、四川外国語大学、天津商業大学、蘇州工学院、嘉興大学、広州工商学院、嘉興大学、青島求实職業技術学院
- ・ベトナム・・・貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学、ダナン大学、ハノイ国家大学外国語大学
- ・タイ・・・カセサート大学、ブラパー大学、パンヤピワット経営大学
- ・ニュージーランド・・・ワイカト大学
- ・アメリカ・・・ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド・・・バーサ大学
- ・フランス・・・ESCブルターニュブレスト
- ・イタリア・・・International Studies Institutes (ISI Abroad)

<留学生支援部>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向けて進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各種支援を行なうために留学生支援部が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績（2025年度）>

- ・第9回 神戸学生イノベーターズ・グランプリ（I-1 グランプリ）

概要：オリバーソース株式会社の協力のもと「どろソースの魅力で、世界を虜に！」をメインテーマに開催。本学からは11チームが参加。フィールドワークでは、オリバーソース株式会社 本社を訪問し、会社の歴史やソースの製造に関する動画の視聴やソースの製造工程を見学。各チームは、フィールドワークやデータ収集・分析を通しターゲット層をまとめ、学生ならではの視点やマーケティング手法を活用し、個性あふれる提案を実施。新雅史准教授指導の有志チーム、【どろ☆スター】が優勝。【虹チーム】（白貞壬ゼミ）が第3位、【構想堂】（亀谷涼講師指導の有志チーム）と【森脇ゼミ2回生】（森脇ゼミ）が特別賞を受賞。

連携先：オリバーソース株式会社

日程：2025年7月～2026年1月

参加状況：2大学（本学・兵庫県立大学）1高校（明石商業高等学校）、21チーム・104名（本学：11チーム・58名）

- ・2025年度人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ

概要：経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、取り組みのなかで成長を遂げた学生の多様な実例を審査・表彰し、その実例の周知を目的に実施される『人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ』に本学から、新ゼミが参加。「本屋がほしい」の声から始まった一箱古本市一調査を実践につなげた1年の挑戦」をテーマに、2024年度から2025年度にかけて実施してきた、商業施設【BRANCH 学園都市】における調査・実践活動を基盤とし、取り組みを通して得た学びや成長を発表。近畿地区予選大会で優秀賞を受賞した。

連携先：一般社団法人社会人基礎力協議会

日程：2025年11月～2026年3月

参加状況：9名（新雅史ゼミ3年生）

- ・学生・西区連携まちづくり活動助成

概要：神戸市西区内の大学・高専に通う学生が、地域課題の解決や魅力向上を目的に行う活動に対し、経費の一部または全部を助成する制度に、白ゼミが3年連続で採択された。今年度は、「地域活性化の推進および有機農業のPR」をテーマに西区内の有機農家・C-farmと連携。9月のオープンキャンパスでは、C-farmとの取り組みをパネル展示するとともに、動画を作成し有機野菜のプロモーションを実施。また、11月の学園祭・りゅうか祭にて模擬店を出店し、西区の有機野菜のPRを行った。

連携先：神戸市西区、C-farm

日程：2025年4月～2026年3月

参加状況：12名（白貞壬ゼミ3年生）

- ・稲美町魅力発信事業

概要：2023年度から兵庫県稲美町へのふるさと納税の推進と町内産業の活性化を図るため、稲美町ふるさと納税返礼品協力企業を取材し、PR活動を実施。今年度は、【株式会社文明堂】と【株式会社有馬芳香堂】を取材。そのインタビューをもとにふるさと納税返礼品と企業の魅力をまとめた学生たちの紹介レポートは稲美町のホームページに掲載され、稲美町へのふるさと納税の検討に役立てられた。

連携先：稲美町

日程：2025年4月～2026年3月

参加状況：14名（秦洋二ゼミ3年生）

- ・家島活性化プロジェクト

概要：2023年度からの辻本ゼミの継続企画。人口減少や空き家の増加が問題となっている兵庫県家島の活性化に取り組むプロジェクト。

【4年生ゼミ】：『家島交流フェス』において模擬店出店と2024年度の活動報告会を実施し、地域住民との交流を深めた。また、昨年度改修した空き家を家島訪問時の活動拠点【家島BASE】と名付け、「家島BASE看板」・「家島BASEルールブック」・「家島オープンマップ」の制作活動を実施。看板作成には空き家改修時の廃材を活用した。

【2・3年生ゼミ】：【家島BASE】を拠点とした家島の魅力発見と情報発信活動を実施。若者や家族連

れが使いやすく、SNS 投稿に繋がるデジタルマップ：【いえしまてくてくマップ】を制作し、家島の魅力を発信した。

また、2 年生から 4 年生のゼミ生全員で【家島 BASE】にて地域活性化の一環として『家島交流カフェ』を開催した。

連携先：いえしまコンシェルジュ

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：15 名（辻本乃理子ゼミ 4 年生・3 年生・2 年生）

・企業課題解決プログラム

概要：課題を抱えている大学コンソーシアムひょうご神戸の賛助会員企業・団体と加盟校のマッチングを行い、大学のゼミの専門性を活かして課題解決を提案するプログラム。本学からは以下の 5 ゼミが参画。

【早川ゼミ】× 株式会社東京商工リサーチ 神戸支店

東京商工リサーチが発行する就職情報誌『ALevel（エラベル）』の認知度向上のための提案を実施。実際に学生自ら『ALevel』を活用しながら就職活動を進め、感じた魅力や問題点をまとめ、企業情報の充実に向けた改善策を提案。

【三浦ゼミ】× エム・シーシー食品株式会社

『国産牛肉の 100 時間かけたビーフカレー』が持つ品質やこだわり、商品に込められた思いを若年層により効果的に伝えていくための方法を検討。商品理解を深める試食会や企業担当者へのヒアリング、学内アンケート調査を実施。得られた知見をもとに、若年層との接点拡大を意識した SNS 活用や体験型施策など、実現性と継続性を考慮したプロモーション案を提案した。

【後藤（奈）ゼミ】× 株式会社日本ビジネスデータプロセッシングセンター

新卒採用において「現状の採用プロセスでよいのか」という企業の課題解決に、アンケート調査やオープンカンパニーでの IT エンジニアの仕事の実体験を通し、学生目線での新しい採用スタイルの考案に挑戦。【日本人チーム】はアンケートから探る最適な SNS 媒体を提案、【留学生チーム】は認知不足を解消する“会社が見える”動画を作成した。

【前川ゼミ】× 株式会社ロック・フィールド

「活躍人材採用のために営業職の魅力を伝えるためには？」をテーマに課題解決に挑戦。前川ゼミは 4 チームに分かれ、ロック・フィールドの「営業職」への理解を深めるために、職場見学やグループワークを重ね、体験型や参加型の要素を盛り込んだ 4 つの多様な就活プログラムを提案した。

- ・実体験で営業のリアルを伝えるプログラム
- ・「食べて知ろう！」体験型 1day インターン
- ・「伝える」を重視した参加型プログラム
- ・販売職を「専門コンサルタント」として再定義

【山川ゼミ】× 株式会社 JTB 神戸支店

JTB が抱える若者の海外離れの課題解決のため、JTB 主催の大学生向け『ホノルルフェスティバル・ボランティアツーリズム・プログラム』を題材に、海外志向醸成に関する現在の学生のマインドの調査・分析を実施。以下の 2 つの販売アプローチ方法を提案した。

- ・学内のボランティアサークルのミーティングで直接的な説明による参加促進への取り組み
- ・学外の海外ボランティア団体への宣伝・連携の取り組み

連携先：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：48 名（早川翔ゼミ 3 年生、三浦玉緒ゼミ 4 年生・3 年生、後藤奈々子ゼミ 3 年生、前川明ゼミ 4 年生・2 年生、山川拓也ゼミ 4 年生・3 年生）

・アパレル新製品企画プロジェクト

概要：カフカ株式会社（名古屋中小企業投資育成株式会社）と連携し「Z 世代のためのアパレルグッズ」をテーマに新製品の企画提案を実施するプロジェクト。中京大学のゼミと合同で実施。藪野ゼミは生理の不快感や悩みに着目し、既存製品の機能を生かしつつ、新たな製品として【サニタリーショーツ】を企画した。

連携先：カフカ株式会社

日程：2025 年 4 月～2025 年 8 月

参加状況：10 名（藪野祥太ゼミ 3 年生）

- ・セキスイ壺「MIGUSA」の新用途展開や販売プロモーション提案
 積水成型工業×流通科学大学 前川ゼミ×武庫川女子大学 井口ゼミ 連携プロジェクト
 概要：セキスイ壺「MIGUSA」の素材を使用した新たな製品やサービスを開発するプロジェクト。武庫川女子大学のゼミと合同で実施。市場調査・分析を行い、学生ならではの柔軟な発想から「MIGUSA」の耐久性や耐水性、防汚性、抗菌性といった素材としての特性に加え、カラーバリエーションの多彩さを最大限に生かした個性あふれる新商品を提案した。
 連携先：積水成型工業株式会社
 日程：2025年4月～2025年8月
 参加状況：11名（前川明ゼミ 3年生）
- ・レッドハリケーンズ大阪観戦者調査プロジェクト
 概要：2022年度からの山口ゼミとの継続企画。レッドハリケーンズ大阪のマーケティング分析をサポートするため、集客増に向けた基礎資料を得ることを目的にスタジアムでの「来場者満足度向上に向けたアンケート調査」を実施。収集したデータを分析し、レッドハリケーンズ大阪に対し、報告書の作成、及び報告会を開催した。
 連携先：レッドハリケーンズ大阪
 日程：2025年4月～2025年11月
 参加状況：14名（山口志郎ゼミ 3年生）
- ・平野商店街の個店の魅力の情報発信を通じた地域貢献（平野商店街振興組合）
 概要：2024年度からの継続企画。今年度は、昨年度に選定した取材先店舗・店員の魅力をマーケティング4P（商品・価格・流通・プロモーション）の視点から取材・分析し、SNSを活用して発信、並びに運用支援を実施。各店舗や商店街の強みや人の魅力を可視化するとともに、継続的な情報発信の仕組みを構築。商店街の認知拡大とイメージアップを図り、来街者増加と地域活性化に貢献した。
 連携先：平野商店街振興組合
 日程：2025年4月～2025年12月
 参加状況：14名（長坂泰之ゼミ 3年生）
- ・Student Innovation College（Sカレ2025）
 概要：マーケティングを学ぶ32大学40ゼミ526名の3年生による161チームがゼミ対抗で、8テーマの商品企画をFacebookで公開し「いいね！」で支持を集め、コメントで改善し、発売を目指す商品企画コンテスト。『秋カン』（大会）でコンセプトを、また『冬カン』（大会）で商品化権を最終プランで競い合い、翌秋カンでは発売実績にもとづき総合優勝を争奪する。本学では、2008年より後援団体としてSカレを支援。今年度は本学から毎年参加している清水信年ゼミに加え、梶田真生ゼミが初参加。
 清水ゼミと梶田ゼミが挑戦したテーマは以下のとおり。
【取組テーマ】
 清水ゼミ
 ・「段ボール商品」（株式会社美販）
 ・「社会課題を解決する印刷製品」（株式会社明成孝橋美術）
 ・「誰かがしあわせになる紙文具」（大阪書籍印刷株式会社）
 梶田ゼミ
 ・「段ボール商品」（株式会社美販）
 ・「ギフト用のオーラルケア製品」（ヤマトエスロン株式会社）
 連携先：Sカレ委員会
 日程：2025年4月～2025年12月
 参加状況：全国32大学（青山学院大学・大阪成蹊大学・岡山理科大学・小樽商科大学・尾道市立大学・関西大学・関西学院大学・京都産業大学・共立女子大学・近畿大学・甲南大学・神戸大学・国士舘大学・駒澤大学・滋賀大学・専修大学・高崎経済大学・中京大学・東海大学・同志社大学・名古屋市立大学・名古屋商科大学・南山大学・兵庫県立大学・福岡大学・法政大学・武庫川女子大学・目白大学・山梨学院大学・立命館大学・流通科学大学（清水信年ゼミ 3年生10名・梶田真生ゼミ 3年生9名）・和歌山大学）40ゼミ・526名・161チーム

・マイプロジェクト in 長田（日本語カフェ）

概要：神戸市長田区をフィールドに、学生ひとりひとりの中にある「自分がやりたいこと・やってみたいこと」（マイプロジェクト）で、かつ、地域にも喜ばれることを、地域の人たちと対話をしながらマッチング企画・運営を行い、地域活性化や地域交流創出につなげていく 2024 年度からの継続企画。今年度は、長田区の日本語学校に通う留学生が地域の人たちとの交流を通して日本文化を学び、また日本語を楽しく正しく学ぶ場として『日本語カフェ』を企画。学校外で日本語を使い、地域や人とつながる場づくりを行った。

連携先：神戸市、ゲストハウスとまりぎ、神楽日本語学園

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：10 名（岡田恵実ゼミ 4 年生・3 年生）

・名谷リビングラボプロジェクト

概要：名谷エリアのさらなる活性化を目的に、『シビックプライド』の醸成に繋がる活動を企画、運営するプロジェクト。フィールドワークや調査を重ね、赤道（歩行者専用道）等の地域資源を再発見。名谷エリアに住む子どもたちをターゲットとした地元の祭り：『名谷赤道故郷祭』を企画。【縁日・屋台】、【コンテスト】、【スタンプラリー】のプログラムを用意し祭りを盛り上げた。

連携先：パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社、神戸市須磨区

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：15 名（岡田恵実ゼミ 3 年生）

・兵庫県播磨町の中学生運動部員を対象とした心理的支援

概要：本学と播磨町との包括連携協定に基づき、播磨中学校の運動部活動に熱心に取り組む中学生を対象に、心のトレーニングの重要性を知ってもらうためのスポーツメンタルトレーニング講座を開催。また、講座内では、運動部活動の地域移行が行われつつある現状において、部活動に取り組む中学生の心理的課題のアンケート調査も実施。調査結果を分析し、今後の支援方策を検討する際に活用可能な基礎的な資料を提供した。

連携先：播磨町

日程：2025 年 4 月～2025 年 9 月

参加状況：6 名（内田遼介ゼミ 4 年生・3 年生）

・まちなか会ワークショップ企画・運営・参画

～津波被災市街地の生き残りのための方策をともに探る～（岩手県陸前高田市）

概要：長坂ゼミは 2022 年度から高田まちなか会と連携し、東日本大震災の津波被災地・陸前高田市の復興支援のための活動を継続して実施。今年度は、「津波被災市街地の生き残りのための方策をともに探る」と題したワークショップを開催。具体的には「若者目線の店選び」をテーマとした車座形式の意見交換会を実施。若者の視点から若者の購買行動の特徴を整理し、SNS の効果的な活用方法を提案した。

連携先：高田まちなか会（事務局：陸前高田ほんまる株式会社）

日程：2025 年 5 月～2026 年 2 月

参加状況：13 名（長坂泰之ゼミ 3 年生）

・コトバスグループとの協働による琴平町での大学生関係人口創出（25 夏）

概要：香川県・琴平町に本社を置く琴平バス株式会社（コトバス）と協働し、大学生をターゲットとする琴平町での関係人口創出を目的に 1 週間滞在型体験プロジェクト：『コトコトプロジェクト』を企画。このプロジェクトは、琴平町での出会いや経験・体験を通じて、地域や住民の魅力に触れ、自分の居場所を見つけていくプロジェクト。ただ訪問するだけでなく、地域や人との関係をこことこ“煮込む”かわり方を体験し、また帰ってきたくなる仕掛けが施されている。

連携先：コトバスグループ、KOTO VEGAS、こんびら温泉 湯元八千代・貸切湯の宿 ことね、中野うどん学校 琴平校

日程：2025 年 5 月～2025 年 9 月

参加状況：3 名（山川拓也ゼミ 4 年生・3 年生）

・琴平町での大学生関係人口創出（第 2 回コトヒラコネクトプロジェクト）

概要：琴平バス株式会社（コトバス）と協働し、琴平町での大学生関係人口創出を目的に実施しているプロジェクト。9 月に実施した『コトコトプロジェクト』の内容をブラッシュアップし実施したプロジェクトの 2 回目。

連携先：コトバスグループ

日程：2026 年 1 月～2026 年 3 月

参加状況：11 名（山川拓也ゼミ 3 年生・2 年生）

・株式会社ラングローブとの課題解決プロジェクト

概要：「日本在住の外国人の若者に中古車を販売するには、どのようなマーケティングをするべきか？」のテーマのもと、辻周吾ゼミに所属する、アメリカ・インドネシア・中国・バングラデシュ・ベトナム・マレーシアなど、延べ6か国の学生が課題解決に挑戦。まず、留学生の中古車購入に対する意識調査を実施。日本語版のアンケート調査票を作成し、それを英語・中国語・ベトナム語に翻訳。多国籍アンケート調査をもとにデータを分析し、異なる文化的な背景を持つ留学生の視点から、日本在住の外国人顧客をターゲットとしたマーケティング提案を行った。

連携先：株式会社ラングローブ

日程：2025年5月～2026年3月

参加状況：15名（辻周吾ゼミ 3年生・2年生）

・放課後等デイサービス事業所での子ども支援における実践とプログラムの開発

概要：昨年度に引き続き、OMOIYARI PLUS ONEの運営する放課後等デイサービス事業所において、子どもたち（発達障がい児）と実際に交流し、継続して支援の実践を重ねる中で、学生の視点からより有効と考えられる支援プログラムを開発、事業所に対して提案を行った。

連携先：株式会社 OMOIYARI PLUS ONE

日程：2025年6月～2026年3月

参加状況：13名（岩崎久志ゼミ 3年生）

・日本全国ユニバーサルビーチ活性化プロジェクト

概要：昨年度に引き続き、障害者がマリンスポーツを楽しむことのできる【ユニバーサルビーチ】の活性化に向けた介入、及び参加者・主催者を対象にアンケート・インタビュー調査を実施。本年度は須磨・小豆島・徳島での活動に参加し、地域特性を踏まえた支援活動と調査を実施、複数地域を比較する視点から検討し、今後のユニバーサルビーチの全国展開に向けた改善点や日本全国におけるユニバーサルビーチ活性化に向けた提案を行った。

連携先：NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト

日程：2025年7月～2026年3月

参加状況：8名（青山将己ゼミ 4年生）

・日本観光経営学会 課題解決型プロジェクト

概要：日頃の学修で培った観光経営に関する知識や視点を活かしながら、企業や地域が実際に直面している課題に取り組む実践型教育プログラム。「NIPPONIA HOTEL 伊賀上野 城下町の新たなマーケットを開拓するためのインバウンド誘致の方法を企画・提案する」というテーマのもと、本学から伊賀ゼミと道前ゼミが参画。伊賀ゼミが【優秀賞】を受賞した。

・伊賀ゼミ：【優秀賞】

「「伊賀上野 忍術体験 –忍術から学ぶ、現代を生きるカー／伊賀上野 俳句体験 –漢詩×俳句」

連携先：一般社団法人日本観光経営学会

日程：2025年6月～2026年2月

参加状況：7名（道前美佐緒ゼミ 3年生、伊賀尚武ゼミ 3年生）

・コーヒー残渣を活用したパン開発を通じたアップサイクル実践プロジェクト

概要：神戸の喫茶店で発生するコーヒー残渣（抽出後の豆かす）をペースト化し、その風味・色味、栄養価を活かして、「アップサイクル（地域資源の循環型活用×SDGs）×学生の実践」をテーマに商品を開発。10月の「神戸パン祭り」や11月の「りゅうか祭」にて開発したパンを販売。パンという身近な食品を通して地域資源のサステナブルな取り組みの価値を発信した。

連携先：株式会社イズベーカーリー、みらい廃棄物研究所

日程：2025年7月～2026年2月

参加状況：15名（岡田恵実ゼミ 3年生）

・須磨海水浴場のユニバーサルデザイン化に向けた活性化事業

概要：国際環境認証「ブルーフラッグ」の認定を受けている須磨海水浴場のさらなるユニバーサルデザイン化に向けた活性化事業を展開した。須磨周辺の「環境整備」に着目し、夏の毎週末に実施される須磨ユニバーサルビーチの参加者へのアンケートや聞き取り調査を実施し、須磨までの交通経路や動線、観光の有無について情報を収集。WheelLog!アプリを用い、バリアフリーマップを作成した。

連携先：NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト

日程：2025年7月～2026年3月

参加状況：30名（青山将己ゼミ 4年生・3年生・2年生）

・BRANCH 学園都市「Family Halloween」

概要：2024年度に開催した BRANCH 神戸学園都市「いい夫婦の日」イベントが好評につき、BRANCH 神戸学園都市テナント会からの要望により、今年度も商業空間における祝祭文化を促進するイベント、『ハロウィンイベント』を企画。「家族で楽しむハロウィン」をコンセプトに【森の広場】の装飾展示を実施。また学生たちが装飾した【森の広場】の森のステージを舞台に一般公募のカップルを対象にした『HALLOWEEN WEDDING』をプロデュースした。

連携先：BRANCH 神戸学園都市

日程：2025年4月～2026年1月

参加状況：11名（道前美佐緒ゼミ 3年生）

・「多可町商工会×流通科学大学関陽ゼミ」プロジェクト

概要：人口減少・若者流出という地域の課題に対して、学生の視点で解決する実践型プロジェクト。今年度は関陽ゼミが「採用強化」をテーマに挑戦。4つのチームに分かれて、多可町の4つの企業・団体とタイアップし、新卒採用強化に向けた効果的な広報の在り方を検討。ヒアリングや現地調査をもとに就活中の学生に向けた PR 方法や企業の PR 動画の作成など、これから就活に臨むことになる学生ならではの視点から学生にとって魅力的に映る広報や情報発信の在り方を提案した。

連携先：多可町商工会

日程：2025年7月～2026年3月

参加状況：19名（関陽ゼミ 3年生）

・地域5大学×三宮オーパ・三宮オーパ2「学生が考えるSDGs」

概要：地域の若い世代とともにSDGsを身近に感じてもらうきっかけづくりや、地域未来の貢献への思いからOPA（三宮オーパ・三宮オーパ2）と地域の5大学（本学、甲南大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭大学、兵庫県立大学）が共創し、SDGsイベントを実施。本学からは2024年度に引き続き竹内ゼミが参画。SDGsに関するゲームを通して、楽しく遊びながら「世界の今」と「SDGs」について学ぶゲーム体験会とSDGsを知る展示を行った。

連携先：株式会社OPA

日程：2025年6月～2025年9月

参加状況：19名（竹内信行ゼミ 3年生）

・結婚式場のエスタシオン・デ・神戸様との社会連携

概要：エスタシオン・デ・神戸が抱える課題改善や、新たなブライダル・イベントの企画提案、及び運営までを学生が実践するプロジェクト。今年度は、エスタシオン・デ・神戸を舞台に就業体験を実施。実際の現場を見て、働いて感じた課題や可能性を抽出。課題を踏まえて、市場調査や来客者からのニーズに対するアンケート調査を実施した。次年度は、収集したデータを心理的側面も含めて分析し、新たな企画を提案予定。

連携先：エスタシオン・デ・神戸

日程：2025年9月～2026年3月

参加状況：5名（保田洋ゼミ 2年生）

・ファジアーノ岡山 新スタジアム建設プロジェクト

概要：2025年にJ1昇格を果たした「ファジアーノ岡山」を対象に、新スタジアム整備に関するファン・サポーターの意向を把握することを目的に実施した調査プロジェクト。アンケート調査を実施し、新スタジアムに対するファン・サポーターの理想とする規模や立地、複合施設などを分析。新スタジアム整備の方向性を検討した。

連携先：ファジアーノ岡山

日程：2025年9月～2026年3月

参加状況：5名（青山将己ゼミ 4年生・3年生・2年生）

・(株)宿場JAPANに対する神戸市灘区のCBT計画の提案

概要：本学の授業『観光施設計画論』でCBT（Community Based Tourism）を学ぶ学生が、「神戸のふつう」をテーマにその土地の歴史や文化、産業、暮らしを大切にしながら、地域の日常を観光資源として活用し、地域の活性化を目指す取り組みに挑戦。学生たちはフィールドワークを通し、「神戸のふつう」を感じることができるコンテンツやツアーを考案。各チームの提案は下記のとおり。

- ・王子公園で手軽に「自然」「動物」を体験できる桜ピクニックツアー
- ・山と海がつくる「神戸のふつう」をめぐるツアー
- ・「神戸といえば“パン”」を味わいながら神戸の歴史を感じる朝の散策ツアー
- ・3つのコースからそれぞれの興味に従って選択できる「海・町・山」を満喫するツアー

連携先：株式会社宿場 JAPAN

日程：2025年9月～2026年1月

参加状況：16名（山川拓也准教授指導『観光施設計画論』クラス 3年生・2年生）

・P-COM 2025

概要：大学と企業（(株) PLANA、(株) 産直、(株) フイゴ）が連携し、マーケティングの企画（Plan）・発表（Presentation）・実践（Practice）を通じて総合的な学びを得ることを目的としたマーケティング企画大会に昨年度に引き続き、藪野ゼミが参画。今年度のテーマは「バイヤーになって、日本の名品を発掘せよ!!」。マーケティングの知識を活かした加工飲食品のプロモーション企画を実施した。

連携先：P-COM 運営事務局

日程：2025年9月～2026年2月

参加状況：9名（藪野祥太ゼミ 2年生）

・若者視点からのヤクルト訪問販売向け商品提案

概要：ヤクルトレディによる訪問販売でヤクルト製品と組み合わせて提案できる新たな食品・菓子等の商品アイデアを学生ならではの視点を取り入れ提案するプロジェクト。店頭販売とは異なる訪問販売の特性を踏まえ、ヤクルトレディが日常の対面対話のなかで無理なく紹介でき、シニア層に喜ばれる「もう一品」を検討。健康への配慮、食べやすさ、継続しやすさ、持ち運びやすさなどの観点を踏まえた以下の4つの商品アイデアを提案した。

- ・米クリスプチョコ
- ・小魚せんべい トマトチーズ
- ・フルーツようかん キウイ味
- ・プロテシガール（「プロテイン入りシガレットロール」）

連携先：ヤクルト商事株式会社

日程：2025年9月～2026年1月

参加状況：14名（岡田恵実ゼミ 2年生）

・天満屋ストアとの社会連携

概要：「天満屋ストアの価値を、まだ届いていない人にどう伝えるか？」をテーマにターゲットの生活や課題を明確にしたうえで、店舗の差別化につながるアイデアを検討。SNS を活用した取り組みや地域を支える存在としての見せ方等、学生ならではの視点から提案を行った。

連携先：株式会社天満屋ストア

日程：2025年9月～2026年1月

参加状況：30名（藪野祥太講師指導『デザイン論』クラス 3年生・2年生）

・ネスタリゾート神戸 社会共創プロジェクト

概要：ネスタリゾート神戸と連携し、テーマパークビジネスの課題に対する解決策を学生視点で提案するプロジェクト。フィールドワークやアンケート調査を通して、「来訪者満足度の向上、及び再訪意欲の促進」といった課題を抽出。価格設定の最適化、待ち時間の価値転換、ブランド体験の強化、園内空間の回遊性向上といった観点から課題を整理し、実現可能性や運用面を踏まえた解決策を提案した。

連携先：ネスタリゾート神戸

日程：2025年9月～2022月

参加状況：14名（山口志郎ゼミ 3年生）

・王将新メニュー開発プロジェクト

概要：2025年2月に参加した「スーパーマーケット・トレードショー2025」をきっかけに連携がスタート。地域食材をテーマに市場調査・分析、商品コンセプト立案、ネーミングや販売戦略の検討までを実施。後藤ゼミは4チームに分かれ、学生ならではの自由な発想や価値観で「売れる商品」を前提とした、「関西らしさ」や親しみやすさをベースに地域と企業をつなぐ新メニューを提案。4つの提案の中から、関西の「美味しい」を一気に味わえるメニューをコンセプトにした【なにお黒毛和牛のあばれまぜそば】を商品化候補として選定、大阪王将 道頓堀本店において期間限定で販売された。

連携先：株式会社大阪王将、株式会社イトアンドフーズ

日程：2025年4月～2026年2月

参加状況：28名（後藤こず恵ゼミ 4年生・3年生・2年生）

- ・東ハト新商品開発プロジェクト

概要：フェアトレードやオーガニックの素材を使用した新しいチョコレート菓子商品の企画提案を行うプロジェクト。社会課題への問題意識と企業活動としての実現性の両立を意識して企画を構築し、アンケート調査やフィールド調査を実施。社会的・環境的に意義のある商品を学生の視点とアイデアで検討し“ホワイトデー”に着目。SDGsをコンセプトとしたギフト商品の企画提案を行った。

連携先：株式会社 YRK and、株式会社東ハト

日程：2025年4月～2026年2月

参加状況：6名（後藤こず恵ゼミ 3年生）

- ・店頭での販売促進プロジェクト

概要：ローソン流科大実習店において、『きゃらふれ』と『サクッとパスタ』の販促強化を目的としたPOPの企画・設置を実施。「売れる売り場をつくる担当者」として責任を持ち、限られたスペースのなかで、売り場全体の調和を保ちながら視覚的な訴求やストーリー性を持たせた演出によって売り場の魅力向上と活性化に貢献した。

連携先：ローソン流科大実習店、シンコー食産株式会社

日程：2025年4月～2026年3月

参加状況：5名（後藤こず恵ゼミ 3年生・2年生）

- ・地域スポーツイベントにおけるスポーツプログラムの提供

概要：NPO法人スポーツクラブ 21 はりまが主催する『うみえーるあおぞらオータムフェス』において、地域の子どもを対象に「スポーツを好きになるきっかけづくり」をコンセプトに学生たちが企画したスポーツ体験ブース、【スティックキャッチ】を運営。子どもたちへのスポーツ機会の提供を通じて、スポーツへの関心を高めることに貢献した。

連携先：NPO法人スポーツクラブ 21 はりま

日程：2025年9月～2025年12月

参加状況：13名（与那覇秀勲ゼミ 2年生）

- ・カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成（平野商店街 KIKKAKE）

概要：神戸市兵庫区平野地区の空き店舗を改修し、カフェ空間として整備されている【シェアカフェ KIKKAKE PLACE】を活用し、飲食店経営に挑戦。出店体験を通じて社会人基礎力を養成するとともに、平野地区にない新たな価値を見出すことで地域貢献を目指すプロジェクト。2022年度からの長坂ゼミの取組み。出店計画、周辺調査・分析、メニュー考案、試作、仕込みから営業まで、すべて学生が主体的に実施。今回は3チームに分かれ、『Café BW』（パンケーキチーム）、『Chunky』（クッキーチーム）、『おもいでや』（給食チーム）をそれぞれ出店した。

連携先：神戸平野商店街 KIKKAKE

日程：2025年10月～2026年3月

参加状況：16名（長坂泰之ゼミ 2年生）

- ・カフェ等の飲食店等の出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成

概要：2年生後期に実施した平野商店街 KIKKAKE での飲食店出店時の振り返りを行い、その反省点などを踏まえ、今回は大安亭市場での飲食店出店に再度挑戦。出店メニューは、ベビーカステラ、焼き芋、たこせんなど、市場にはないものを提供。併せて、ゼミ生自らが交渉をし、実現した、神戸市内の就労支援施設が運営する焙煎事業と連携し、施設利用者とともにコーヒー販売も実施。さらなる経営能力の高みを目指すとともに、地域商業の価値創造に貢献した。

連携先：大安亭市場

日程：2025年10月～2026年3月

参加状況：14名（長坂泰之ゼミ 4年生・3年生）

- ・レッドハリケーンズ大阪における集客増に向けた企画実践

概要：連携協定を締結しているレッドハリケーンズ大阪との連携活動を2023年度から『健康サービス企画運営演習』の授業においても導入。授業では、学生の視点からプロスポーツの現場の課題を抽出し、レッドハリケーンズ大阪における“集客増”に向けた企画を提案。1月17日（土）ヤンマースタジアム長居にて、学生自ら考えた企画を現場で実践した。

連携先：レッドハリケーンズ大阪

日程：2025年9月～2026年1月

参加状況：20名（山口志郎教授、青山将己准教授指導『健康サービス企画運営演習』クラス 3年生）

・ブランチ学園都市 一箱古本市

概要：2024 年度に BRANCH 神戸学園都市において実施した消費者アンケートで最も多かった「本屋がほしい」という要望を受け、常設の書店は困難でも 1 日限定の「まちの本屋」であれば、学生の手で実現できるのではないかと、という発想から生まれた企画。段ボール箱一つ分の本を持ち寄れば、だれでも店主になれる本のフリーマーケット「一箱古本市」を開催。子どもから大人まで多様な地域住民が年齢を問わず参加できる開かれた場を提供。本を通じた世代間交流の創出、地域コミュニティの活性化に貢献した。

連携先：BRANCH 神戸学園都市

日程：2025 年 11 月～2026 年 3 月

参加状況：9 名（新雅史ゼミ 3 年生）

・あなたのスポーツパフォーマンス能力は!? —プロラグビー選手と比べてみましょう—

概要：2023 年度・2024 年度に続き今年度もレッドハリケーンズ大阪のホームゲーム会場で、来場者向けの「体力測定イベント」を実施。本イベントは、プロラグビー選手のスポーツパフォーマンスを身近に感じてもらうとともに、来場者自身が選手の測定データと比較しながら自身の体力について考えるきっかけとなる体験型企画。今年度の体力測定項目は、握力・タッチスピード・ラグビーボール投球スピード、立ち幅跳び、反応時間の 5 項目。

連携先：レッドハリケーンズ大阪

日程：2025 年 12 月～2026 年 2 月

参加状況：14 名（関和俊ゼミ 2 年生、山本隼年ゼミ 2 年生）

・兵庫県立武道館 武道祭における体験型コンテンツの提供

概要：兵庫県立武道館が開催する武道祭の縁日コーナー（有料ブース）で、学生自らが企画した体験型コンテンツ（【ロープワークの技術を用いたキーホルダーの作成】）を運営した。企画立案、準備、当日運営のみでなく、参加見込み数の算定から、適切な仕入れ数の決定、原価を踏まえた価格設定に至るまで、実際の経営プロセスを主体的に担った。

連携先：兵庫県立武道館

日程：2025 年 10 月～2026 年 3 月

参加状況：8 名（与那覇秀勲ゼミ 2 年生）

・プラスチックをこれまで以上に社会に受け入れられるための施策を考える

アスカカンパニー×流通科学大学 前川ゼミ×武庫川女子大学 井口ゼミ 連携プログラム

概要：現在、世界的に「脱プラスチック」の流れが加速している一方で、現代社会のインフラを維持するためには依然として「不可欠な素材」であるプラスチックを「環境を汚すゴミ」から「社会を支え循環する資源」へと再定義し、社会全体での受容性を高めるための施策を学生視点で提案するプロジェクト。次年度も引き続き実施予定。

連携先：アスカカンパニー株式会社

日程：2026 年 3 月～

参加状況：16 名（前川明ゼミ 2 年生）

・小野市特産品認知拡大プロジェクト

概要：昨年度からの継続企画。今年度は、昨年度開発した小野市産のトマトを使った『トマト甘酒』の認知拡大や小野市に開業したアンテナショップ【jimono select いちいち】の PR、活性化に挑戦。神戸空港発着のフジドリームエアラインズの就航地で開催されるマラソン大会にて【トマト甘酒】の試飲や販売、PR 活動を実施。また、【jimono select いちいち】と連携し、トリコデルマ菌を活用して栽培された「甘くて大きいトマト」の認知拡大のため「トマト食べ比べイベント」を【いちいち】で開催。【いちいち】と小野市産トマトの認知拡大に貢献した。

・農林水産省主催『第 2 回みどり戦略学生チャレンジ近畿大会』において【特別賞】を受賞

【特別賞】：小野市アンテナショップ「いちいち」×学生プロジェクト

—トリコデルマ菌による“甘くて大きいトマト”の認知拡大—

【特別賞】：トマト甘酒の開発と販売

—産官学連携を基盤とする地域創生と持続可能な発展モデル—

連携先：小野市

日程：2025 年 4 月～2026 年 3 月

参加状況：10 名（西村典芳ゼミ 3 年生）

・猪名川町ワインプロジェクト

概要：猪名川町のぶどう農家が栽培するぶどうを活用し、加工品や特産品を充実させ、町の活性化につなげていくプロジェクトで、2023年度からの西村ゼミの継続企画。2年前にゼミ生が定植したぶどうを今年初めて収穫。これらのぶどうを併せ今年は100本以上のワインが完成。猪名川町で開催された地域イベントにおいて【いながわワインプロジェクト】のブースを出店し、開発したワインの試飲提供やアンケート調査を実施。ワインのラベルデザインは学生が担当し、ネーミングは町民からの公募で『空良（そら）しづく』に決定。地域と連携しながら学生ならではの視点を活かした商品づくり、情報発信に取り組んだ。

- ・農林水産省主催『第2回みどり戦略学生チャレンジ近畿大会』において【優秀チャレンジ賞】を受賞
- 【優秀チャレンジ賞】：「猪名川ワイン」で地域を元気に産学官連携による地域ブランド創出プロジェクト

連携先：猪名川町、島之内フジマル醸造所、AWAJISHIMA WINERY COMPLEX

日程：2025年4月～2026年3月

参加状況：10名（西村典芳ゼミ 3年生）

・播州織産地見学体験コンテンツ・ツアー造成事業

概要：昨年度取り組んだ【“兵庫の魅力” Students Treasure Hunt Project】を通して、多可町の播州織が抱える“後継者不足”という課題に着目。実際に工場を見学し、播州織の魅力を直接感じてもらい新たな価値の創造につなげることを目的に、「播州織体験ツアー」を提案。11月には学生がプロデュースした多可町の自然と伝統を満喫できる【多可町魅力満喫ツアー】を開催した。

連携先：多可町役場

日程：2025年5月～2025年11月

参加状況：3名（西村典芳ゼミ 4年生）

・アルバモス大阪高石観戦者調査プロジェクト

概要：ハンドボールチームのアルバモス大阪高石と協働し、集客増に向けた基礎資料を得ることを目的に、岸和田市総合体育館での観戦者調査を実施。次年度は収集したデータを分析し、報告書を作成するとともにアルバモス大阪高石に対して、観戦者調査の報告会、及び兵庫体育・スポーツ科学学会にてポスター発表を実施予定。

連携先：アルバモス大阪高石

日程：2025年11月～2026年3月

参加状況：9名（山口志郎ゼミ 2年生）

④地域や高校との交流・連携 活動一覧（2025年度）

・トライやる・ウィーク

概要：近隣中学校の2年生に5日間（9:30～15:30）、本学の様々な部署の仕事を体験いただく職場体験企画。

日程：2025年11月10日（月）～2025年11月14日（金）

受入状況：4名（横尾中学校、桃山台中学校）

・高校との交流

概要：課外活動団体 Libro と高校生との合同練習

伊川谷北高等学校 9件（9/10、9/25、10/6、10/29、11/14、12/17、1/15、2/4、2/6）

神戸星城高等学校 5件（9/12、10/28、11/14、1/31、2/7）

東播磨高等学校 1件（11/15）

加古川南高等学校 2件（12/19、2/5）

啓明学院高等学校 1件（1/31）

武庫川女子大学附属高等学校 1件（2/6）

概要：本学留学生と高校生との国際交流企画

須磨友が丘高等学校 3件（6/11、10/8、11/12）

育英高等学校 1件（7/9）

川西明峰高等学校 1件（11/12）

長田高等学校 4件（1/27、1/28、1/30、2/2）

・地域との交流

神戸市西区役所地域協働課と課外活動団体社会イベント隊ランニングボランティア部がマルシェを通じた地産地消の推進及び西神中央の活性化に伴い、ウェルアベニューマルシェ活性化イベントを実施。

日程：2025年8月20日